

会 議 録

会議名	第3回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会		
開催日	令和6年10月4日（金）	場 所	駅前庁舎8階 防災室・会議室
時 間	午前10時00分～午前11時30分		
出席者	委員：鬼塚信弘委員、滝口隆士委員、高木厚行委員、碓井宏委員、 木村路久委員、渡辺則行委員、吉田究委員 事務局：企画部 安田次長 地域政策室 鈴木室長、栗田副主幹、鵜田係長、鈴木主任主事 株式会社日建設計 渡辺氏、安富氏、三宅氏 （木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）策定支援業務受託者）		
議 題	1 木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）骨子案について		
公開・非公開の別	議題1 公開		
傍聴者数	4人		
配付資料	○会議次第 ○資料1 木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）骨子案について		
会議概要	別紙のとおり		

【会議の概要】

○事務局（鈴木主任主事）

本日はお忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

本日の会議は公開で行います。また記録のため録音写真撮影をさせていただきますのでご了承ください。発言される際は、マイクのボタンを押した上でご発言いただき、終わりましたら再度ボタンを押してオフに切り替えていただきますようお願いいたします。会議の傍聴を希望される方がおりますので、ここで傍聴人の方に入ってください。

【傍聴人入場】

それではただ今より第3回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会を開催いたします。本日の司会進行を務めさせていただきます。企画部地域政策室の鈴木でございます。よろしくお願いいたします。

ここで会議の定足数についてご報告させていただきます。附属機関設置条例第6条第2項の規定によりまして、会議は委員の半数以上の出席がなければ開くことができないとなっておりますが、本日は委員9名中7名の委員にご出席をいただいておりますので、委員会は成立することをご報告させていただきます。

それでは初めに鬼塚委員長よりご挨拶をいただきたいと思います。鬼塚委員長よろしくお願いいたします。

○鬼塚委員長

みなさんおはようございます。この頃、秋らしくなったかと思えば今日はちょっと暑くなりまして、残暑が厳しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。第2回は9月に実施されまして、第2回までの内容を踏まえて、本日は実施計画の骨子案ということで、江川総合運動場周辺、回遊性向上、実施計画書の目次案を中心にみなさんに活発なご議論をいただき、よりよいものとしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局（鈴木主任主事）

ありがとうございました。

それでは早速、議事に入りたいと思っております。附属機関設置条例第6条第1項に委員長が会議の議長となる、とありますので、ここからの議事進行につきましては鬼塚委員長にお願いいたします。鬼塚委員長よろしくお願いいたします。

○鬼塚委員長

それでは議事を進行いたします。なお、発言される場合は挙手をお願いします。

本日の議題は1件となっております。議題1「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）骨子案について」です。それでは事務局より説明願います。

○事務局（鈴木室長）

それでは議題の1につきましては、株式会社日建設計からご説明させていただきますので、よろしくお願いいたします。

【「資料1 木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）骨子案について」を説明】

○鬼塚委員長

ありがとうございました。それでは、「木更津飛行場周辺まちづくり実施計画（他3地区）骨子案

について」の説明がありましたが、ご意見 ご質問などございますか。

○滝口委員

築山を中心とした公園をつくろうというのはよく分かりました。ただ公園北側の方には住宅があるため、そこへの騒音の問題が出てくると思っています。この地区は、日頃から駐屯地のヘリコプター等が飛んでいるため、ある程度の騒音は覚悟しているのですが、公園ができると新たな騒音が発生してうるさいというような苦情が出る可能性もあると思います。昼間はともかく、公園としては営業時間で区切るのか、それとも24時間開放するのか、どのような運営をお考えなのかお聞かせください。

○事務局（鵜田係長）

管理の時間に関しましては、民間事業者さんに入っていただくエリアでございますので、基本的には民間事業者さんの営業時間によるのかなと思っています。もちろん築山の方に関しましては公園ですので、24時間開放して入れる運営になると思います。

ただ、おっしゃるように民家が近いということを考慮するとキャンプの導入やイベントを実施すると夜にも人がいる状況が考えられますので、民間事業者募集の際には条件付け等により周辺の方々に影響がないように運営にするなど、市の方からも注意喚起というような形で対応をさせていただければと思います。

○高木委員

築山の位置での高さ制限が7mで築山の高さが6mということですが、築山上の備蓄倉庫など建造物の取り扱いはどうなるのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

築山の上に設ける設備を含めて高さ制限の7mに入ってくるものと捉えております。

飛行ルート上で、飛行場に近い地点で7m、北に行くにつれて最大で14mと高さ制限の幅がある地区でございますので、各高さ制限位置に応じて設備配置の場所も決まってくるものと考えております。

○滝口委員

この築山は基本的に地震の津波時の避難用ということで河川の氾濫時の避難などは想定していないということですね。そうであれば、用途の違いをしっかりと周知していただきたいです。

○事務局（鵜田係長）

おっしゃるとおり、避難時にわかりやすいよう、地元の方も含めて周知していくための対応をしっかりとしていただきたいと思います。

○木村委員

週末に金田地区まで訪れた人々をどのようにして市内まで動かすか、というのが本計画では重要と感じています。しかし、昨今の交通事情として、イオンモールの方の話を聞くと、バス会社は高齢化でバスの台数を減らしてくれという話が挙がっていることも聞いています。そういった面では新たなモビリティの発想やどのように市内に人を呼び込むかをもう少し考える必要があると思います。

○事務局（鵜田係長）

おっしゃるようにバスの問題というのは重々に認識しているところではございます。新たなモビリティについて、この実施計画の中でどこまで明確にお示しできるかは現段階で明示ができませんが、いただいた意見を参考に検討させていただきます。

○高木委員

16ページの広域的回遊性の中にきさライドサイクリングコースとあるが、これは新たにつくるのでしょうか。

○事務局（鵜田係長）

既存のものをお示しさせていただいています。

○鬼塚委員長

広域的な回遊性の話で、連携の仕掛けの例というのは、今あげられているものだけなのか、他にもイメージされているものがあるのかお聞かせ願いたいです。

○日建設計（渡辺氏）

今、資料内の図中でお示ししているものは、ある程度実施の確実性のあるものを示しています。

他にも可能性が考えられるものとしては、例えば、交通の連携という視点では、内港エリアを周遊している水上バスが北や南に航路を拡大してみなとまち木更津をより感じられるメニューができるとよいとか、自転車道を県道や海沿いルートを含めて全面的に整備できないか等、将来的にそのような可能性もあるかと考えています。

また、イベント面でいきますと、防災機能を備えた公園では、例えば木更津市内の小学校が学校行事で年1回はこの築山に登るイベントを実施し防災を学ぶ機会とするなど、メニューは色々と考えられるのではないかと考えております。

○鬼塚委員長

以上で、本日の議事は終了いたしました。ご協力ありがとうございました。

○事務局（鈴木主任主事）

鬼塚委員長ありがとうございました。次回の第4回検討委員会は11月1日（金）10時から開催を予定しております。開催案内は別途案内させていただきます

それでは以上をもちまして、第3回木更津飛行場周辺まちづくり（他3地区）策定検討委員会を終了させていただきます。本日はありがとうございました。

第3回木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会の内容について、上記のとおり確認する。

令和6年10月23日

木更津飛行場周辺まちづくり実施計画策定検討委員会委員長 鬼塚 信弘